



～ 出かける つなぐ 創る ～

©TOMONORI TANIGUCHI 2018 この絵は、さまざまな“ちがひ”をもつ人びとが、互いに認めあえる共生社会をイメージしています。

No.690

2022

秋号

ふくしおおさか



介護職・介護業務の魅力発信!

INDEX

- 04~05** 特集
子ども・家庭を社会につなぐ
- 02** トキメキ継続 介護にキュン
- 03** 笑顔咲かせる人 / ふくしを巡る歴史探訪
- 06~07** ~未来の担い手確保への取り組み~
楽しく福祉にふれる場を
- 08~09** 離れていてもできる災害支援のカたち
地域で活躍する民生委員さん
- 10** 社会福祉法人の地域貢献
くらし応援! 食料支援
- 11** 経営相談室だより
- 12** 赤い羽根OSAKA / 府社協への寄付 他

障がい者福祉施設にとつて今の焦点は虐待防止体制の整備だろう。障害者虐待防止法施行から十年が経過し、本年度から施設に「虐待防止委員会設置」や「職員研修実施」などが義務づけられ、体制整備が本格的に動きはじめている。

先日、職員研修に出て驚いた。冒頭、講師は施設従事者による虐待の『相談・通報・届出件数』で大阪府が十年間、全国一であることを「誇るべき状況」と表現した。

大阪の先進性に感心(睦)

現したのである。批判されることはあっても『誇るべき』の形容詞がつくことはありえない。世間の感覚も同じはずだ。

説明もなく進んだ講習の途中ではたと気がついた。大阪では職員の起こした虐待事案を運営者側が自発的に行政通報するのが常識となりつつあるのだ。通報して行政とともに改善策を考える。だから多い。だから誇らしい。

焦点

FukushiOsaka
Column



トキメキ継続



風通しのよい環境づくり

大阪福祉人材支援センターが実施している高校生対象「出前講座」。(福)あゆみ会アンパス東大阪の職員の話聞いた高校生からは、「こんな施設で働いてみたい!」といった声が多くあがりました。

統括施設長の曾我部伸一さんと、出前講座で講師を担当した3年目の武田那智さんと村中鞠花さんに人材定着・育成の秘訣を伺いました。

◀武田那智さん(右)と村中鞠花さん(左)

長く働いてもらいたい

「せっかかく介護の世界を選んでもうこちらに来てくれたからには、長く働いてもらいたい」。

曾我部さんは自身が長年現場を経験してきたこともあり、職員の思いを大切にしたいという考えを強くもっています。利用者にいきいきと楽しく過ごしてもらうには、まず職員が楽しく働くことが必要です。働きやすい職場環境とは何か、日々試行錯誤を重ねています。

中でも特に力を入れているのが、組織の理念やビジョンを共有する仲間を増やすための、入職時からの継続的なマネジメント教育です。職種をこえたチームでの学び合いを通じて成長の一步を促し、モチベーションを高められるようサポートしています。

みんなで人を育てていく

若手職員にとって働きやすい職場をつくるためには、まずリーダー層の意識改革が欠かせません。

「みんなで人を育てていく」という共通認識のもと、若手職員が一人で悩みを抱え孤立しないようにしていけない声かけや、上から押しつけるのではなく一緒にやることを常に心がけて実践しています。

さらに、月に1〜2回、リーダー層や

管理者を対象に内部研修を実施。参加者は、普段の業務で聞き取っている職員の声や思いを生かし、面談時などに話を引き出すための聞き方や人材育成についての課題や問題点を議論しています。

人が育たない、離職する理由には「自分のキャリアが見えない」「スタッフ間で理解し合えない」というものがあがってきます。今までの面談では管理者からの発信が中心になりがちでしたが、将来像をイメージすることができる人材育成に重点を置いた人事考課制度へ刷新し、また組織全体の理念・目標を実現するために個人の努力だけでなく組織のマネジメント力で人を育てることに力を入れています。

若手職員が感じる風通しのよさ

入職3年目で利用者から大人気の武田さんと村中さん。元々人と関わる

ことが好きでした。武田さんは家族が施設の利用者で、村中さんは高校の職場見学でそれぞれ施設を訪れる機会があり、職員が楽しそうに働いているようすが印象的で入職を決めました。

「職員同士の仲が良く、話しやすい。わからないことがあったら先輩にすぐに聞くことができ、ていねいに教えてくれます」と話す二人の姿から、曾我部さんやリーダー層がめざしている

風通しのよい環境が浸透していることが伺えます。

曾我部さんは「これからたいへんなこともあると思いますが、入職時の人と関わる仕事でしたが、入職時の人にもち続けてもらいたいです。仕事がいかにやりがいがあるか、それ以上にやることがあって楽しいと思ってもらえるように、組織として、いろいろなことにチャレンジしたいと考えています。チームアンパスとして、一緒に頑張っていきましょう!」と笑顔で話しました。

高校生対象「出前講座」

職業観を育む機会、進路選択の参考となることを目的に実施。キャリア支援専門員のほか、福祉施設職員など外部講師から、福祉の現場・高齢者や認知症の理解・介護技術体験等をテーマに講義を行っている。



曾我部伸一さん▶